

株式会社 明電舎が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、このたび、株式会社 明電舎が発行する第 2 回無担保普通社債（グリーンボンド）（以下「本債券、」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2019 年 7 月 23 日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券で、本債券の資金使途は、電気自動車用部品の量産設備増強資金の一部に充当予定であります。

本債券については、株式会社 日本格付研究所による「JCR グリーンボンド評価」において、グリーンボンド原則 2018 及びグリーンボンドガイドライン 2017 年版の基準を満たしているとして、最上位評価である「Green1」の本評価を取得しております。

また、第三者評価機関である DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン 株式会社（以下、DNV GL）より、気候ボンド標準 2.1 版及び低炭素陸上輸送にかかる気候ボンド基準 1.0 版への適合性について検証を受けております。さらに、DNV GL からの検証をもって、厳格な基準を設ける CBI（Climate Bonds Initiative：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO）から認証を取得しております。なお、CBI からの認証取得は、民間企業として国内初となります。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上